

2023.12.22 No.3



みどり
水土里ネット

未来の「水」「土」「里」を
創造する

新潟の土地改良

新潟県土地改良
事業団体連合会



Vol.621

令和5年度 第3号

Contents

要請活動	1	農業農村整備に関する意見交換会(国予算キャラバン)／	
第45回 全国土地改良大会 福井大会	3	令和5年度 統合整備推進研修(会計研修)	8
令和5年度 水土里ネット男女共同参画推進大会 in kazuno	4	「農業用ため池に潜む危険性」啓発イベント／	
疏水フォーラム in 常西用水2023	5	令和5年 秋の叙勲受章者紹介	9
令和5年度 土地改良施設管理事業推進協議会研究会	6	連合会日誌／表紙写真紹介	10
2023ため池フォーラム in とっとり／			
令和5年度 世界かんがい施設遺産地域活性化推進協議会総会	7		

要請活動

要請のポイント

- ほ場整備をはじめ、地域の要望に応える農業農村整備事業の予算の確保
- 安定した農業を支える農業水利施設の維持管理に関する支援の強化、特に用排水ポンプ運転の燃料費や電気料金の高騰に対する運営基盤の強化に向けた引き続きの支援

新潟県への要請

去る10月30日、本会は、新潟県の花角知事ならびに新潟県農地部の登り部長に対し、新潟県の農業農村整備の推進に関する要請活動を行いました。

帆刈会長から要望書を手交した後、意見交換を行いました。農業者の高齢化が進み、20年後には担い手の大幅な減少が見込まれること、多くの農地が未整備であることから耕作放棄されるおそれがあるといった現状に対し、花角知事からは、「限られた予算の中で多くのことができるよう工夫したい。担い手確保のためにもほ場整備は重要であり、この10年が大事だと認識している」といった発言があるなど、要望内容についてご理解いただきました。

また、長く続いた高温・少雨による渇水などの問題に対し、登り部長からは、「渇水被害応急対策支援としてポンプのリース代等の支援を行っている。うまく活用して欲しい」といった発言をいただきました。



＜ 帆刈会長(右から4番目)から
花角知事(右から3番目)へ要望書を手交 ＞



＜ 帆刈会長(右から3番目)から
登り部長(4番目)へ要望書を手交 ＞



＜ 花角知事への要請活動の様子 ＞



＜ 登り部長への要請活動の様子 ＞

北陸四県土地改良事業団体連合会協議会の要請活動

要請のポイント

- 土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、建設資材価格の高騰や建設事業者等の構造的賃上げへの対応等も踏まえ、現場のニーズに応えられるよう、必要な予算を確保すること。特に、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策および同じく防災・減災対策としての役割も担う土地改良施設の維持管理に資する多面的機能支払制度、ならびに地域の農業生産の維持・発展に資する中山間地域等直接支払制度については、令和6年度以降も十分な予算を確保すること。
- 大規模災害からの復旧・復興や災害防止の取組を早急に進めること。また災害対応におけるリモート技術の活用などのデジタル化、事務手続きの更なる簡素化を図ること。

中央への要請

去る10月25日から26日の2日間、北陸四県土地改良事業団体連合会協議会は、農林水産省、財務省、自民党本部に対して、令和6年度農業農村整備事業の予算確保に向けた要請活動を行いました。

農林水産省では、舞立政務官へ、財務省では、佐藤政務官、漆畑主計官へ、自民党本部では、茂木幹事長へ要望書を手交し、各県の状況と要望をお伝えしました。



各県の会長らが舞立政務官(中央)へ
要望書を手交



各県の会長らが佐藤政務官(中央)へ
要望書を手交



各県の会長らが茂木幹事長(中央)へ
要望書を手交

北陸農政局への要請

去る10月23日、北陸四県土地改良事業団体連合会協議会は、川合北陸農政局長への要請活動を行うとともに、幹部職員との意見交換を行いました。



北陸四県の専務理事らが
川合北陸農政局長(中央)へ要望書を手交



幹部職員との意見交換の様子

第45回 全国土地改良大会 福井大会

去る10月11日、サンドーム福井(福井県越前市)において、第45回全国土地改良大会福井大会が開催されました。

この大会は、我が国の農業・農村の更なる発展に向け、農業農村整備の重要性和、それを下支える「水土里ネット」の役割を再認識することを目的としており、関係者約4,000人が参加しました。

山崎福井県土地改良事業団体連合会長の挨拶で開会し、二階会長に代わり、義経全国土地改良事業団体連合会副会長による主催者挨拶、杉本福井県知事、山田越前市長ならびに佐々木鯖江市長による歓迎のこたば、武村農林水産副大臣を始め、福井県選出国会議員の稲田衆議院議員、都道府県全国水土里ネット会長会議顧問の進藤、宮崎参議院議員による来賓祝辞がありました。

次に、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰44名が表彰されました。

本県からは、濱田佐登之氏が農林水産大臣賞、澁谷幸男氏が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞しました。

その後、青山農林水産省農村振興局次長による基調講演、土地改良における男女共同参画の取組みについて、富山県の南砺市土地改良区や福井県土地改良事業団体連合会から優良事例紹介が行われました。

最後に、大会宣言、次期開催県紹介・大会旗引継、森千葉県土地改良事業団体連合会長による次期開催県挨拶が行われ、大会は盛会裏に終了しました。



＜山崎福井県土連会長＞



＜会場の様子＞

全国土地改良事業功績者表彰 受賞者

農林水産大臣表彰



はまだ さとし
濱田 佐登之

前 西蒲原土地改良区 理事長

前 新潟県土地改良事業団体連合会 理事

全国土地改良事業団体連合会長表彰



しばや ゆきお
澁谷 幸男

新発田土地改良区 理事長

新潟県土地改良事業団体連合会 理事

令和5年度 水土里ネット男女共同参画推進大会 in kazuno

去る9月27日～28日の2日間、ホテル鹿角(秋田県鹿角市)において、全国水土里ネット女性の会、あきた水土里ネット女性の会主催による令和5年度水土里ネット男女共同参画推進大会 in kazunoが開催されました。

この大会は、各都道府県の水土里ネット女性の会会員や土地改良区の理事などを対象に、男女共同参画に関する先進的取組事例を学び、個々のスキルアップを図りながら、それぞれの地域における男女共同参画を推進することを目的しており、関係者約200名が参加しました。

27日は、ホテル鹿角(鹿角市)において、大会式典が開かれ、女性活躍推進に関する基調講演や「男女共同参画社会を実現するためには」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。

28日は、現地研修が行われ、ユネスコ世界文化遺産に登録されている「大湯環状列石」、日本の滝百選にも選ばれた小坂七滝の向かいにある「小坂七滝ワイナリー」などを訪問しました。

参加した当会の女性職員からは、「基幹的農業従事者の約4割が女性であり、今後の農業の発展のためにも、女性活躍の推進は大切だろうと感じた」といった感想が聞かれ、参加者はそれぞれに思いを馳せる有意義な大会となりました。



< 根本会長 >

大会概要

9月27日		
内 容	説 明 者	
主催者挨拶	全国水土里ネット女性の会	会 長 根本 由紀子
来賓挨拶	都道府県水土里ネット会長会議顧問	参議院議員 宮崎 雅夫 参議院議員 進藤 金日子
	全国土地改良事業団体連合会	専務理事 室本 隆司
基調講演 「土地改良区の未来を拓く多様な人材の活躍に向けて」	農林水産省農村振興局農村政策部	部 長 佐藤 一 絵
(講演内容) ・食料・農業・農村基本法(1999年)における女性参画促進や都市と農村の交流など地方創生、農村振興、女性活躍について ・「しなやかで、ゆるやか そして…欲張り!」をキーワードにした女性リーダーの育成について		
パネルディスカッション テーマ:「男女共同参画社会を実現するためには」	秋田県立大学生物資源科学部 副学部長・教授 長濱 健一郎 (コーディネーター) 大島堰土地改良区(宮崎県) 理事長 奥村 千扶子 (パネリスト) 大仙市大曲土地改良区(秋田県) 理 事 今野 信子 (パネリスト) 胆沢平野土地改良区(岩手県) 理事長 千田 公喜 (パネリスト) 島根県土地改良事業団体連合会 理 事 中尾 祥子 (パネリスト)	
(土地改良区が社会に認知され、期待される組織になるきっかけとは何かという問いに対する意見) ・土地改良区に女性が入って様々な意見を言うことで、男女問わず役職員の良好な関係が築け、よりよい土地改良区になるのではないかと考えている。今、全国で女性の理事長は1人だが、今後はどんどん女性の理事長が誕生することを期待している。(奥村氏) ・自分が秋田県初の女性理事ということを就任後に知り、驚いた。土地改良区の組合員のほとんどが男性であり、女性は表に出づらいいということもあるが、女性だからできないということはない。(自分のような存在が)女性の理事や総代の増加につながることを期待している。(今野氏) ・女性の理事が3人誕生したことで土地改良区の雰囲気が明るくなった。男性よりも細かいところに気付いてくれたり、ありがたいと感じている。今回の女性理事登用をきっかけに、総代になろうとする女性の方が出てくるのではないかと期待している。(千田氏) ・男女関係なくそれぞれの得意分野を発揮して、農業や農村での安心で楽しい暮らしなどについて、話合いの場を作ることが必要で、そこに土地改良区も参加することが大切。そうした中で女性理事の候補を見つけていく機会も作れるはず。(中尾氏)		
大会決議文朗読	あきた水土里ネット女性の会	副会長 坂本 由美子

9月28日	
現地研修	ストーンサークル館・大湯環状列石、小坂七滝ワイナリー

疏水フォーラム in 常西用水2023

去る10月30日～31日の2日間、富山県内において、疏水フォーラムin常西用水2023が開催されました。

このフォーラムは、各都道府県、土地改良区の職員等を対象に、疏水を将来に引き継いでいくことができるよう情報の交換や発信等を行うことを目的として、関係者約800名が参加しました。

30日は、富山国際会議場において、フォーラムが開かれ、疏水をとりまく情勢に関する基調講演や「都市地域の疏水の保全管理を考える」をテーマとしたパネルディスカッション等が行われました。

31日は、現地研修が行われ、常願寺川から取水した水の流れに沿って、横江頭首工や世界かんがい施設遺産に登録されている常西合口幹線水路を見学しました。

参加した当会の職員からは、「新庄排砂水門では、施設の説明看板の新設や遊歩道の整備がなされており、農業水利施設の重要性を地域住民に理解してもらうための取組みを肌で感じる事ができた」といった感想が聞かれ、実りあるフォーラムとなりました。

フォーラム概要

10月30日		
内 容	説 明 者	
開会宣言	富山県土地改良事業団体連合会	理 事 鹿 熊 正 一
主催者挨拶	疏水ネットワーク	会 長 中 川 忠 昭
開催地挨拶	富山市	市 長 藤 井 裕 久
来賓挨拶	富山県 都道府県水土里ネット会長会議 農林水産省北陸農政局	知 事 新 田 八 朗 顧 問 宮 崎 雅 夫 局 長 川 合 規 史
基調講演 「疏水をとりまく情勢について」	農林水産省農村振興局整備部水資源課	課 長 瀧 川 拓 哉
(講演内容) ・人口減少や食料安全保障のとりまく環境など食料・農業・農村基本法の制定以降の情勢変化について ・農業水利施設の老朽化や豪雨災害リスクの高まりなど農業水利を巡る情勢変化について		
講演「都市化が進む地域における農業用水の維持管理について」	水土里ネット天狗岩	事務局長 磯 田 靖
(講演内容) ・受益農地の減少による運営の脆弱化やゴミの不法投棄による水質汚濁など都市化による影響について ・小水力発電施設の導入検証や地域住民に対する用水の重要性への理解など都市化の課題に対する対策について		
活動報告「常西用水の維持管理活動について」	水土里ネット常西用水	事務局長 水 谷 英 二
(講演内容) ・都市化の進展による賦課面積と農地率の減少について ・土地改良区役職員による水路検分や景観に配慮した安全策の設置など環境・安全・防災対策について		
パネルディスカッション テーマ:「都市地域の疏水の保全管理を考える」	上智大学グローバル教育センター 水土里ネット常西用水 水土里ネット鹿妻 水土里ネット天狗岩 農林水産省農村振興局整備部水資源課	教 授 杉 浦 未 希 子 (コーディネーター) 理 事 長 中 川 忠 昭 (パネリスト) 理 事 長 高 橋 隆 (パネリスト) 事務局長 磯 田 靖 (パネリスト) 課 長 瀧 川 拓 哉 (パネリスト)
(都市化による様々な課題に対し、今後講じていきたい対策や地域への呼びかけに関する意見) ・行政と連携しながら市街地における雨水対策をしっかりと行っていきたい。また、疏水の歴史を子供たちに引き継いでいかなければならない。(中川氏) ・子どもたちに水の大切さや土地改良区の歴史を話す機会があり、子どもたちがその話を両親にも伝えてくれる。そのような機会を大切にしたい。(高橋氏) ・流域治水の取組みとして、土地改良区で複数の分水堰の一元管理ができるよう検討が始まっている。施設の管理者不足への対策や迅速な治水対策が可能となるため、早急に進めていきたい。(磯田氏) ・流域治水の経費であれば、国が補助できるという仕組みを始めている。これから検討していかないといけないこともあるが、既に始まっているものもあるので、各地方農政局や都道府県に相談して欲しい。(瀧川氏)		

10月31日	
現地研修	横江頭首工・左岸連絡水路橋・常西合口幹線水路・新庄排砂水門



< フォーラムの様子 >



< 横江頭首工 >



< 常西合口幹線水路 >

令和5年度 土地改良施設管理事業推進協議会研究会

去る9月28日～29日の2日間、福島県内において、令和5年度土地改良施設管理事業推進協議会研究会が開催されました。

この研究会は、全国の土地改良施設を管理する土地改良区の職員等を対象に、現在直面している課題や情報の交換を目的としており、関係者約150名が参加しました。

28日は、会津若松ワシントンホテル（会津若松市）において、研究会が開かれ、農業水利施設の省力化や福島県内の農地の復旧等に関する講演、福島県内の農業水利施設の維持管理等に関する事例発表がありました。

29日は、現地研修が行われ、約4,500haの受益地に水を供給する新宮川ダムやダムの管理電力や売電による管理経費削減を目的とした新宮川ダム発電所を見学しました。

参加した当会の職員からは、「ストックマネジメントに関わる機能診断方法として、ドローンやICT等の活用が推進され、当会としても日々技術・情報の収集に努めなければならないと感じた」といった感想が聞かれ、有意義な研究会となりました。



< 会場の様子 >

研究会概要

9月28日		
内 容	説 明 者	
主催者挨拶	全国土地改良施設管理事業推進協議会	常務理事 加藤 秀樹
歓迎挨拶	会津北部土地改良区	理 事 長 佐藤 雄一
来賓挨拶	東北農政局農村振興部	部 長 川村 文洋
講演①「農業水利施設を巡る情勢」	農林水産省農村振興局整備部水資源課施設保全管理室	室 長 志村 和信
(講演内容)・人口減少下でも生産を維持する供給基盤の確立など「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」について ・AIを活用した機能診断の実証やパイプラインにおける機能保全へのAI導入など農業水利施設の省力化		
講演②「ふくしまの農業・農村の復興のあゆみ」	福島県農林水産部農地管理課	課 長 斎藤 剛
(講演内容)・津波や地震による農地・農業用施設等の被害に対する水田の汎用化、スマート農業の展開といった農地の復旧・復興 ・発災から12年間で延べ1,861名となった派遣職員「福耕支援隊」について		
特別講演「会津の歴史と文化」	一般社団法人会津歴史観光ガイド協会	理 事 長 石田 明夫
(講演内容)・会津藩校日新館の役割について		
事例発表①「会津宮川土地改良区の取り組み」	会津宮川土地改良区事業課	事業第1係長 二瓶 保之
(講演内容)・パイプラインの分水調整について		
事例発表②「会津北部土地改良区の概要と維持管理について」	会津北部土地改良区事業管理課	課 長 磯部 和孝
(講演内容)・国営かんがい排水事業「会津北部地区」など国営・県営事業の取組みについて		
次期開催地挨拶	児島湾土地改良区(岡山県)	事務局長 大杉 誠

9月29日	
現地研修	新宮川ダム・新宮川ダム発電所



< 加藤常務理事 >



< 新宮川ダム発電所における説明 >

2023ため池フォーラムinとっとり

去る11月9日～10日の2日間、鳥取県内において、2023ため池フォーラムinとっとりが開催されました。

このフォーラムは、各都道府県や土地改良区の職員等を対象に、ため池の保全活動や地域活性化への取り組み事例を情報共有することで、今後のため池に関する取り組みをより一層推進することを目的としており、関係者約150名が参加しました。

9日は、鳥取県立県民文化会館において、フォーラムが開かれ、ため池の調査研究に関する基調講演や防災・減災対策に関する取り組みの報告等が行われました。

10日は、現地見学会が行われ、全国ため池百選に選定されている大山池を見学しました。

フォーラム概要

11月9日			
内 容	説 明 者		
開会宣言	鳥取県	知 事	平 井 伸 治
来賓挨拶	農林水産省農村振興局整備部防災課 全国土地改良事業団体連合会 全国ため池等整備事業推進協議会 鳥取県議会	課 長 主任研究員 副 会 長 議 長	石 井 克 欣 由 谷 倫 也 宮 崎 雅 夫 浜 崎 晋 一
特別講演「こだわりの星空舞づくりに全力投球！」	「食パラダイス鳥取県」野球・農業二刀流ヘッドコーチ 川 口 和 久		
基調講演「鳥取県のため池に関する調査研究の取り組み～産官学の連携を通して～」	鳥取大学農学部	教 授	清 水 克 之
(講演内容)・低コストで洪水吐を補完する緊急放流装置や住民にメールや警告灯で通知する水位警報システムなど大きな改修を伴わない防災について			
情勢報告「ため池の防災・減災対策の取組状況について」	農林水産省農村振興局整備部防災課	室 長	渡 部 和 弘
(講演内容)・防災工事の代執行などの事例を交えた「ため池管理保安法」及び「ため池工事特措法」の概要 ・災害関連事業で洪水吐きの断面を拡大させることによる流下能力の向上といった改良復旧による防災工事の加速化について			
事例発表	・鳥取県 ・天神野土地改良区	・鳥取県土地改良事業団体連合会 ・久米ヶ原土地改良区	
(発表内容)・ため池監視システムの導入推進やため池サポートセンターの取組み 等			
次回開催県挨拶	秋田県農林水産部	次 長	大 山 泰
閉会挨拶	鳥取県土地改良事業団体連合会	会 長	榎 本 武 利

11月10日	
現地見学会(倉吉コース)	・大山池(狼谷ため池)

令和5年度 世界かんがい施設遺産地域活性化推進協議会総会

去る10月10日、福井県織協ビル(福井市)において、世界かんがい施設遺産地域活性化推進協議会総会が開催されました。

この協議会は、各都道府県、市町村、土地改良区等の会員で構成され、世界かんがい施設遺産登録地区関係者や支援団体等が行う農村活性化への取り組みの支援を目的とするもので、関係者約150名が会場およびオンラインにて参加しました。

農林水産省農村振興局の青山次長の開会挨拶のあと、議案の承認、外部講師による情報発信に関するセミナー、世界かんがい施設遺産に関する会員からの発表が行われました。

出席した当会職員からは、「かんがい施設をどのようにして地域に周知していくかが課題と感じた。課題に対して、セミナーでの情報発信の方法はとても参考になった」といった感想が聞かれ、充実した総会となりました。



< 会場の様子 >

総会概要

内 容		説 明 者	
開会宣言	農林水産省農村振興局	次 長	青 山 健 治
来賓挨拶	国際かんがい排水委員会日本国内委員会	委 員 長	渡 邊 紹 裕
議 事			
(内 容)・第1号議案「世界かんがい施設遺産地域活性化推進協議会の加入報告について」 ・第2号議案「世界かんがい施設遺産地域活性化推進協議会の役員等について」 ・第3号議案「世界かんがい施設遺産地域活性化推進協議会の活動計画について」 ・第4号議案「世界かんがい施設遺産カードについて」			
外部講師によるセミナー「地域の遺産を地域の価値向上の資産に」	株式会社博報堂	顧 問	立 谷 光 太 郎
(講演内容)・SNSを中心としたメディアの活用など価値をつくる情報発信の第一歩について ・生活者視点に基づく情報発信や有用性のある情報を繰り返し発信し続けるといった価値をつくる情報発信について			
会員からの発表	熊本県山都町教育委員会 備前渠水路土地改良区	学 芸 員 事務局長	大津山 恭子(通潤用水地区) 牛山 美津子(備前渠水路地区)
(発表内容)・世界かんがい施設遺産に登録された「通潤用水」及び国宝に指定された「通潤橋」の概要 ・のぼり旗の作成や広報看板の作成、埼玉県知事への表敬訪問など世界かんがい施設遺産に登録された「備前渠水路」のその後の取組み			

農業農村整備に関する意見交換会(国予算キャラバン)

去る11月27日、新潟県自治会館(新潟市)において、農業農村整備に関する意見交換会が開催されました。

この意見交換会には、農業農村整備事業を巡る地域の課題・要望等についての意見交換を目的に、農林水産省、新潟県農地部、市町村、土地改良区など約40名が参加しました。

新潟県農地部の登り部長ならびに農林水産省農村振興局整備部の緒方部長の挨拶で開会し、令和6年度農業農村整備事業関係予算概算要求の概要等について、農林水産省農村振興局整備部の担当者より説明があった後、農林水産省と市および土地改良区との意見交換が行われました。



< 緒方整備部長 >



< 意見交換会の様子 >

令和5年度 統合整備推進研修(会計研修)

去る10月19日、県土連ビル(新潟市)において、土地改良区(連合)の会計担当者等を対象とした令和5年度統合整備推進研修(会計研修)を開催しました。

この研修会には、財務諸表等の作成手続きや財務分析の方法に関する知識の習得を目的に約90名が参加しました。

当会の坪谷専務理事の挨拶で開会し、財務諸表等を活用した財務分析に関する研修や会計処理事例の紹介が行われました。

参加者からは、「積立額を調整し、引当金以上とならないようにした方がよいか」といった質問が寄せられ、会計に関する知識の向上に資する研修となりました。



< 会場の様子 >

研修概要

内 容	説 明 者
開会挨拶	新潟県土地改良事業団体連合会 専務理事 坪谷 満久
財務諸表等の作成手続き	全国土地改良事業団体連合会支援部 主 幹 田中 克哉
(内 容)・減価償却費の計上や有価証券の評価替えといった決算整理事項など決算整理事務に関する説明 ・正味財産増減計算書、貸借対照表などの作成方法に関する説明	
会計処理事例紹介(新潟版)	新潟県土地改良事業団体連合会総務部会員支援室 係 長 野崎 敬
(内 容)・令和4年度に創設された防災減災機能等強化事業に関する会計処理方法について ・貸借対照表科目の繰越について	
会計処理事例紹介(全国版) 財務諸表等を活用した財務分析の方法	全国土地改良事業団体連合会支援部 主 事 保倉 拓也
(内 容)・全国で開催された令和4年度統合整備推進研修(会計研修)での質疑応答集の紹介 ・貸借対照表や収支決算書等財務3表の分析による土地改良区の財務分析	
農家負担金軽減支援対策事業の取組みについて	全国土地改良事業団体連合会管理システム研究部 参 与 阿部 司
(内 容)・水田・畑作経営所得安定対策等支援事業及び担い手育成農地集積事業の対象事業一覧 ・農地有効利用推進支援事業や災害被災地域土地改良負担金償還助成事業の活用例について	

「農業用ため池に潜む危険性」啓発イベント

去る10月18日、湯舟沢ため池(三条市)において、新潟県ため池サポートセンター主催による「農業用ため池に潜む危険性」啓発イベントが開催されました。

このイベントは、農業用ため池の災害や事故の未然防止を図ることを目的としており、当日は、県や市町村、土地改良区の職員のほか、ため池管理者や地元の小学生など、約70名が参加しました。

新潟県ため池サポートセンターの風間センター長の挨拶の後、地元の小学生に向け、ため池の役割や特徴について、ため池管理者等に向け、日常管理の技術指導についてそれぞれ説明がありました。

その後、一般社団法人水難学会より、スタントマンによる転落事故の危険性と転落した際の対策について実演がありました。

参加した小学生からは「(ため池の深さが)浅いと思ったら以外に深かった。ため池で遊ばないようにしたい」といった感想が聞かれ、ため池に潜む危険性を認識してもらえる機会となりました。



〈 事務局による
ため池関係者向けの技術指導の様子 〉



〈 スタントマンによる
ため池に転落した際の対策の実演 〉

令和5年 秋の叙勲受章者紹介

この度の栄ある受章、誠におめでとうございます。

今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

旭日双光章
土地改良
功労



かとう ゆたか
加藤 豊

新潟北土地改良区 理事長

旭日双光章
土地改良
功労



おおだいら たかし
大平 隆

信濃川左岸土地改良区 理事長

旭日双光章
土地改良
功労



くわはら のりお
桑原 紀夫

津南郷土地改良区 理事長

旭日双光章
地方自治
功労



えのもと はるみ
榎本 春実

魚沼市土地改良区 理事長
元 魚沼市市議会議員

連合会日誌

10月 10日 (火)	世界かんがい施設遺産遺産地域活性化推進協議会総会	福井県
11日(水)～12日(木)	第45回 全国土地改良大会 (福井大会)	福井県
18日 (水)	「農業用ため池に潜む危険性」啓発イベント	三条市
19日 (木)	令和5年度 統合整備推進研修 (会計研修)	県土連ビル
23日 (月)	北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 北陸農政局要請活動	石川県
24日(火)～25日(水)	令和5年度 土地改良区体制強化事業 施設管理研修 (発電施設) 発電維持管理研修	オンライン
25日(水)～26日(木)	北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 中央要請活動	東京都
30日 (月)	新潟県への要請活動	新潟市
30日(月)～31日(火)	疏水フォーラムin常西用水2023	富山県
11月 1日 (水)	本会監事会監査	県土連ビル
7日 (火)	農業農村整備の集い	東京都
9日(木)～10日(金)	2023ため池フォーラムinとっとり	鳥取県
15日(水)～16日(木)	令和5年度 北陸四県土地改良事業団体連合会協議会職員研修会	富山県
21日(火)～22日(水)	令和5年度 北陸ブロック換地関係異議紛争処理実務研修会	新潟市
22日 (水)	新潟県農村振興技術講演会	新潟市
	ほ場整備地区園芸産地化現地研修会	新発田市
27日 (月)	農業農村整備に関する意見交換会 (予算キャラバン)	新潟市
	令和5年度 土地改良区体制強化事業 統合整備推進研修 (基礎研修)	茨城県
12月 6日 (水)	本会正副会長会議	県土連ビル
8日 (金)	令和5年度 土地改良区体制強化事業 基幹水利施設省エネルギー化技術実践向上研修	新潟市
15日 (金)	本会理事会	新潟市

表紙写真紹介



水土里ネット新潟 会長賞「福島潟」

おおた しゅんご
太田 隼湖さん (新潟県新潟市・小学6年生)

表紙の絵画は、「未来へつなごう!ふるさとの水土里子ども絵画展2023」において、水土里ネット新潟会長賞を受賞した、新潟市内の小学校に通う太田隼湖さんが描いた作品です。

作品には、多くの動植物が生息し、「日本の自然百選」にも選ばれている福島潟が描かれており、「福島潟のきれいな水辺や小舟の中に浮かぶ美しいオニバスの様子を伝えたい」といった思いが込められています。



未来の「水」「土」「里」を創造する

